

NAVIGATOR 音声ガイドナビゲーター

貸出料金：お一人様600円（税込）

松下洸平さん Kouhei Matsushita （俳優・シンガーソングライター）

松下洸平さんが 展覧会を楽しくご案内します。

松下洸平さんからのコメント

やんちゃで寂しがり屋、冒険が大好きだけど、帰るのはお母さんの待つあったかいお家。僕はそんなピーターが大好きでした。

家には『ピーターラビットのおはなし』があったし、子どもの頃に飼っていたウサギには、たぶんピーターも大好きだと思ふにんじんをあげていた。『動物たちが言葉を喋る』なんて夢のような話と思いながらも、二人きりになると飼っていたウサギに一生懸命話しかけていた。

多くの人々に愛されているピーターラビットは、僕にとっても、世界一薄いブルーのジャケットが似合う友だちです。音声ガイドのナビゲーターは初めてで緊張していますが、ピーターラビットの世界をより楽しんでいただくために頑張ります。



松下洸平 1987年3月6日生まれ。東京都出身。2008年CDデビュー、NHK連続テレビ小説『スカーレット』で一躍注目を集める。ドラマ、映画、舞台、音楽など、幅広く活躍中。

GOODS グッズ

展覧会オリジナルグッズも 多数ご用意しています！

※商品の価格は全て税込。
※商品のデザインや価格は予告なく変更する場合があります。
※グッズは数量限定のため、品切れとなる場合があります。

リバティプリントの
ぬいぐるみ
3,520円

本革製
チャーム付き
マスコット
1,980円

巾着
全3柄
各880円

あべのハルカス美術館 ABENO HARUKAS ART MUSEUM

〒545-6016 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43

あべのハルカス16階

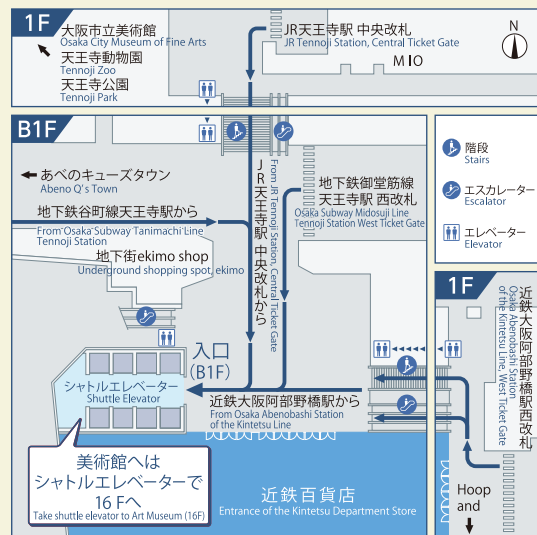
【お問い合わせ】06-4399-9050

【美術館公式HP】<https://www.aham.jp/>

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催内容の変更や入場制限等を行う場合があります。最新の情報は美術館公式HPをご確認ください。

〈交通案内〉

近鉄「大阪阿部野橋駅」、JR・地下鉄「天王寺駅」、
阪堺上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ。



※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
※あべのハルカス美術館へは、シャトルエレベーター
【乗り口：地下1階または2階】をご利用ください。

TICKETS チケット情報

（価格は全て税込）

	当日	前売・団体
一般	1,600円	1,400円
大高生	1,200円	1,000円
中小生	500円	300円

※団体は15名様以上。
※前売券は2022年4月16日(土)～7月1日(金)まで販売。
※障がい者手帳をお持ちの方は、美術館チケットカウンターで購入されたご本人と付き添いの方1名様まで当日料金の半額。
※本展観覧券(半券可)の提示で、特別展「ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀オランダ絵画展」[2022年7月16日(土)～9月25日(日)] 大阪市立美術館の当日券を100円引でご購入いただけます。(1枚につきお一人様1回限り有効、他の割引券との併用不可)

チケット販売場所

あべのハルカス美術館ミュージアムショップ(美術館開館日のみ)、あべのハルカス美術館ホームページ(オンラインチケット)、近鉄駅営業所、ローソンチケット(Lコード：59010)、チケットぴあ(Pコード：993-549)、イープラス、セブンチケット、CNブレイガイド、近畿日本ツーリストグループの店舗(一部店舗を除く)など。

お得なセット券も発売！

ペア券(一般2枚組) 2,500円 販売期間：2022年4月16日(土)～7月1日(金)

※ペア券は、下記ブレイガイドでの販売となります。
ローソンチケット、チケットぴあ、イープラス、セブンチケット、CNブレイガイド

展覧会オリジナルグッズ付チケット(一般のみ)

ローソンチケットにて販売 販売期間：2022年4月16日(土)～無くなり次第終了

※本展観覧券とグッズ引換券が別々に発券されます。両方をお持ちください。
※各グッズは、会期中あべのハルカス美術館ミュージアムショップにてお引換ください。

ロルバーン
ポケット付メモL

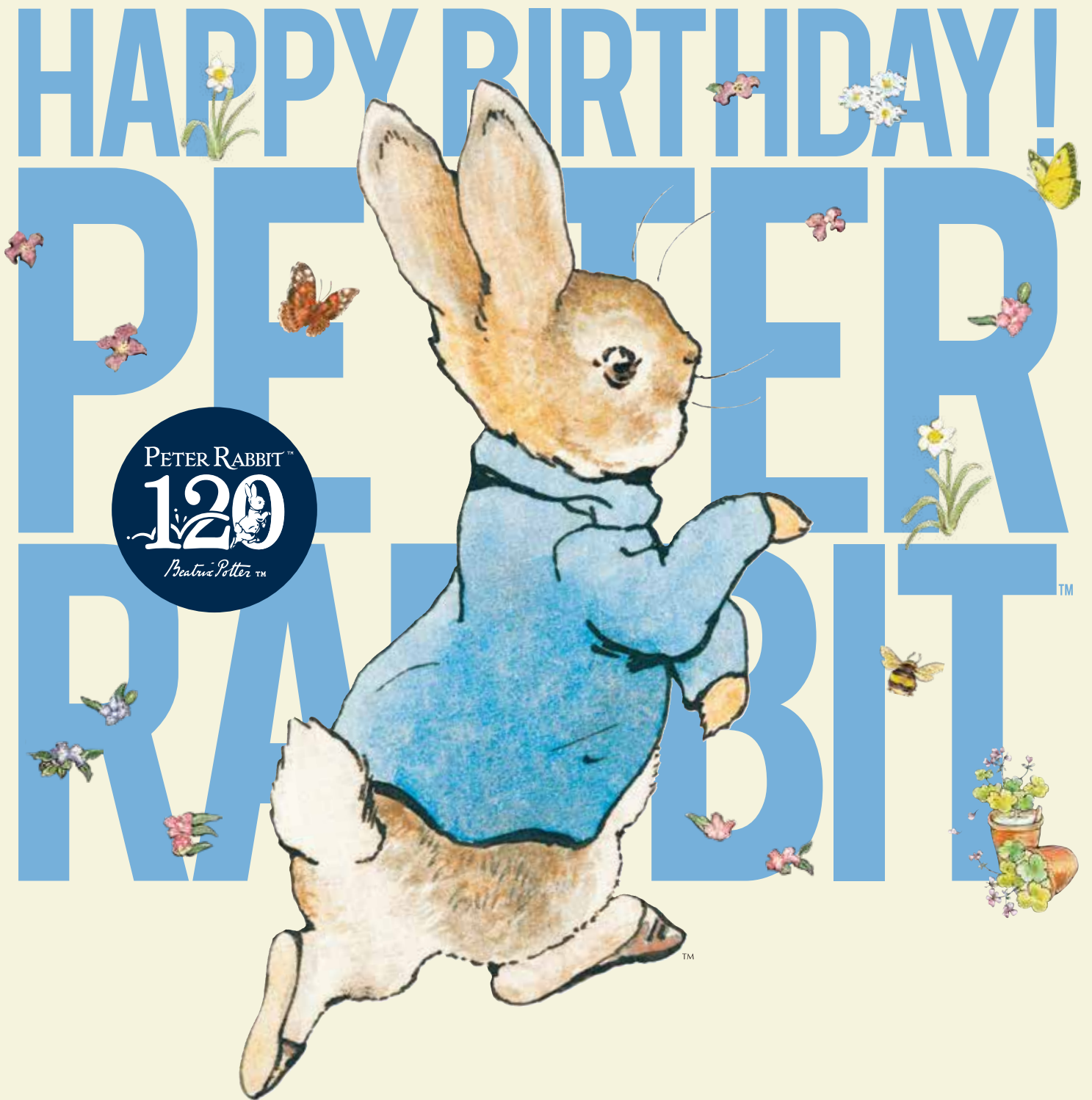
2,300円

※グッズ付チケット
限定品です。

九谷焼
小皿

3,800円

※グッズ付チケット限定品です。
サイズ直径120×高さ20mm



出版120周年

ピーターラビット展

2022.7.2 SAT - 9.4 SUN

開館時間＝火～金／10:00～20:00 月土日祝／10:00～18:00 ※入館は閉館30分前まで 休館日＝7月4日、11日の各月曜日

主催＝あべのハルカス美術館、朝日新聞社、関西テレビ放送、東映 協賛＝竹中工務店 協力＝日本航空、ソニー・クリエイティブプロダクツ 監修＝河野芳英(大東文化大学教授)



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

In association with Frederick Warne & Co:



PETER RABBIT™ & BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2022. Frederick Warne & Co. is the owner of all rights, copyrights and trademarks in the Beatrix Potter character names and illustrations. Licensed by Frederick Warne & Co. Ltd. All Rights Reserved.

展覧会公式サイト

<https://peter120.exhibit.jp>



今なお世界中で愛され続けるいたずら好きなウサギ ピーターラビット™。1902年にフレデリック・ウォーン社*から刊行されたシリーズ最初の絵本『ピーターラビットのおはなし』は、2022年に **出版120周年** を迎えます。本展は、その**メモリアルイヤー**をお祝いして、ピーターラビットの**誕生日前夜から今日に至るまで**の歩みを、物語の原点となった**絵手紙**や**貴重な彩色原画**など約170点で振り返ります。盛大な**バースディパーティ**にぜひお越しください。

*フレデリック・ウォーン社はThe World of Peter Rabbit™のブランドオーナーです。

1

日本初公開!!

ピーター誕生までの物語

原点となる絵手紙とウサギのスケッチ

『ピーターラビットのおはなし』は、1893年、ビアトリクス・ポターが病床の元家庭教師の息子、ノエル・ムーアを元気づけるために送った絵手紙が原点となっています。貴重な絵手紙の直筆オリジナルを日本で初公開します。



《ノエル・ムーア宛ての絵手紙》
1893年 ビアソンPLC
© Victoria & Albert Museum, London, 2015



《横たわるウサギの習作》
1899年 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
(リンダー・コレクションからの寄贈)
Courtesy of The Victoria and Albert Museum
and Frederick Warne & Co.



《「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画》1902年 ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社 © Frederick Warne & Co. Ltd, 2017

2

日本初!!

シリーズ最初の絵本 『ピーターラビットのおはなし』 彩色画全点*1を一堂に展示!

出版120周年の今年まで、日本語版の絵本では掲載されなかった挿絵*2の原画を含め、『ピーターラビットのおはなし』の彩色画全点を大公開! 作者が当初思い描いた絵本のすがたを日本で初めて展示で再現します。



3

絵本を抜け出したピーターラビット!

作者ビアトリクス・ポター™監修、 100年以上前に作られた 貴重な関連アイテムも大公開!

ビアトリクスは、絵本の出版だけではなく生涯に渡って様々な関連商品の製作も意欲的に手がけました。本展では作者自らが監修したピーターラビットのぬいぐるみなど、貴重なアイテムの数々もご覧いただけます。



《ピーターラビットのルームシューズ》
ジョイ・フットウェア社 1919年
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2021



《ピーターラビットのぬいぐるみ特許証》
1903年 ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2020



《ピーターラビットの
追いかっこゲーム》
フレデリック・ウォーン社 1919年頃
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2021

絵本のキャラクターを商品化するための特許を取得したのは、ビアトリクスが最初の人物だと言われています。

《ピーターラビットのぬいぐるみ》シュタイフ社
1905年 ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2015



作者 ビアトリクス・ポター™ Beatrix Potter™

ロンドンの裕福な家庭に生まれたビアトリクス・ポター(1866-1943)は、幼い頃から絵を描く才能を発揮し、特に小動物を好んで描きました。挿絵画家として仕事を始めた頃に、元家庭教師の息子の療養を見舞うために送った、いたずら好きなウサギのピーターについての絵手紙がきっかけとなり、「ピーターラビット」シリーズが刊行され、世界中でベストセラーとなりました。彼女の情熱はイギリスの湖水地方の景観を守ることにも向けられ、農場経営を通して生涯に渡りその自然を守り続けました。

1892年 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
Courtesy of The Victoria and Albert Museum



4

特大バースディケーキでお祝いしよう!

ハッピーバースディ! ピーターラビット™

本展のためにイギリス湖水地方のザ・ワールド・オブ・ビアトリクス・ポター・アトラクションが特別に制作した、高さ180cmの特大バースディケーキで『ピーターラビットのおはなし』の出版120周年をお祝します。



バースディケーキデザイン
Designed by Caroline Dalton
*画像はイメージです。
実際の展示物とは異なる可能性があります。



*1 ビアトリクスによる原画が所在不明となっており、フレデリック・ウォーン社が2010年に再制作したものを含みます。
*2 ビアトリクスが「ピーターラビットのおはなし」のために水彩で描いた挿絵は、その一部が絵本に掲載されてはいませんでした。出版から100年を経た2002年以降、英語版の絵本では挿絵全点が収録されるようになり、日本でも、挿絵全点を掲載した絵本「ピーターラビットのおはなし」を含む全23巻の新訳版が2022年3月より順次出版されます(早川書房刊)。



《「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画》
1902年 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
(リンダー・コレクションからの寄贈)
Courtesy of The Victoria and Albert Museum and
Frederick Warne & Co.



《「ピーターラビットのおはなし」初版(濃茶色厚紙装丁版)》
フレデリック・ウォーン社 1902年
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2021

HAPPY BIRTHDAY! PETER RABBIT™